

チリ大使館商務部 PROCHILE TOKYO

2011年度対チリ投資結果

先日発表したデータによると、2011年のチリ向け海外直接投資額は約175.3億ドルとなり、2010年比16.1%増、過去5年間で39.2%増加しました。

チリ政府による投資承認ベースと政令第600号(D.L.600)では約41.4億ドル、2010年比で54.7%増となりました。そのうち約13.6億ドル、投資総額の32.9%を日本からの投資で占め、次いでカナダ(約11.8億ドル、投資総額の28.5%)、スペイン(約7.9億ドル、同19.2%)、アメリカ(約2.1億ドル、同5.1%)、韓国(約1.58億ドル、同3.8%)と続いています。投資国上位5カ国に初めてアジアより2カ国がエントリーしました。

アジアからのトレンドは明らかで、2011年1年間の韓国からの投資額は同国からチリへの過去の投資総額の79.7%をも占めています。日本と中国に関してはそれぞれ30.1%、10.3%となっています。

2011年、海外投資家を引きつけた第1位の分野は鉱業で24.8億ドル、投資総額の60.1%を占めています。第2位がサービス業(約9.4億ドル、投資総額の22.9%)、第3位が運輸・コミュニケーション部門(2.19億ドル、同5.3%)、製造業(2.1億ドル、同5.3%)と続いています。電気・ガス・水事業(2億ドル、同5.1%)、一方、農業部門は5,500万ドル、投資総額の1.4%となっています。

日本からの投資は、投資総額約13.6億ドルのうち98%が鉱業プロジェクトに向けられ、残りは電気・ガス・水事業とサービス部門に向けられています。

チリ政府は本年から、海外からの投資窓口を海外投資委員会に一本化し、PROCHILE(チリ貿易振興局)の海外オフィスと連携しながら海外直接投資を誘致していくこととしました。

お問い合わせは、チリ大使館(TEL:03-3769-0551、E-mail:oficom@chile.or.jp)まで。

